

平成 29 年度（一社）日本音響学会九州支部総会資料

会 場：九州大学 大橋キャンパス 3号館2階 322 教室
福岡市南区塩原4-9-1

日 時：平成 29 年 3 月 26 日（日）14:30 ～ 16:00

議事内容：

1. 平成 28 年度活動報告
2. 平成 28 年度収支報告
3. 平成 28 年度会計監査報告
4. 平成 29 年度活動計画
5. 平成 29 年度予算案
6. 平成 29 年度支部役員及び評議員選挙結果
7. 支部学生表彰について
8. 日本音響学会九州支部学会活動貢献賞について
9. その他

1. 平成 28 年度活動報告

事業年度：平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日

(1) 平成 28 年度会員現況

会員種別	平成 28 年 2 月 25 日現在	平成 29 年 2 月 25 日現在	平成 28 年度内の 増減
名誉会員	0	0	0
終身会員	7	7	0
正会員	171	168	-3
学生会員	85	63	-22
会員数 合計	263	238	-25
賛助会員	3 社 3 口	2 社 2 口	-1 社 -1 口

(2) 支部総会定足数の確認

支部総会（平成 29 年 3 月 26 日 14:30～16:00）において、
議決権を持つ会員数：名誉会員数，終身会員数，正会員数の合計 175 名
定足数： 35 名（議決権を持つ会員数の 5 分の 1），
出席者 29 名、委任状 33 名、計 62 名であるので、総会成立。

(3) 事業内容

1. 九州支部主催または共催の研究発表会、研究会等の実施

開催日	支部主催 共催の別	会合名(開催場所)
2016年7月29日(金)	共催	超音波研究会(九州大学筑紫キャンパス)
2016年9月29, 30日(木, 金)	共催	電気・情報関係学会九州支部連合大会(宮崎大学 木花キャンパス)
2016年11月17, 18日(木, 金)	共催	応用音響研究会(大分市コンパルホール)
2016年12月17, 18日(土, 日)	共催	聴覚研究会(九州大学 大橋キャンパス)
2017年1月7日(土)	共催	音楽音響研究会(九州大学 大橋キャンパス)
2017年2月4日(土)	主催	YKJCA2017(韓国・釜山, 釜慶大学)
2017年2月17日(金)	共催	騒音・振動研究会(熊本大学 黒髪キャンパス)
2017年3月1, 2日(水, 木)	共催	応用音響研究会・音声研究会・信号処理研究会 (沖縄産業支援センター)
2017年3月3日(金)	共催	建築音響研究会(九州大学 大橋キャンパス)

2. 第8回嶺南九州音響学会議(YKJCA2017)開催概要について

平成29年2月4日(土)に釜慶大学大淵キャンパスにおいて、第8回嶺南九州音響学会議(YKJCA2017)を開催した。嶺南九州音響学会議は、日本音響学会九州支部および韓国音響学会嶺南支部の共催で開催される音響学に関する会議であり、両支部の学術交流の発展と両支部を中心とする音響学研究者の科学技術情報の交換を目的とした会議である。発表件数は、日本から21件、韓国から13件で合計34件、参加者数は、日本から35名、韓国から17名、合計52名であった。

3. 学生表彰の実施

平成28年度エントリ締め切り(平成29年1月13日)から遡って24ヶ月内に九州支部が主催または共催した研究発表会、研究会等(但し、平成29年2月4日開催のYKJCA2017を含む)における学生の発表を対象として応募者を募り、特に優れたものを表彰する事業を行った。平成28年12月21日に応募案内を送付した結果、締め切りまでに合計で16件の応募があった。その内訳は、学部4年生が1件、大学院修士課程学生が14件、大学院博士課程学生が1件である。平成29年1月に九州支部学生表彰審査委員会が設置され、厳正な選考を行った結果、5名の学生表彰者を選出した。表彰式は平成29年3月26日の支部総会開催時に実施される。なお、表彰対象者の詳細は後の議事で報告する。

4. 電気・情報関係学会九州支部連合大会における活動

1) 第69回電気・情報関係学会九州支部連合大会

平成28年9月29日(木)、30日(金)に、宮崎大学木花キャンパスにて開催された。一般講演申込件数は400件であり、そのうち音響・音声部門では6件の発表が行われた。

2) 会議

平成28年5月31日(火) 第1回大会委員会・合同会議(九州大学筑紫キャンパス)

平成28年7月25日(月) 大会プログラム編集会議(九州大学伊都キャンパス)

平成28年9月30日(金) 第2回大会委員会(宮崎大学木花キャンパス)

平成28年11月15日(火) 第3回大会委員会(九州大学筑紫キャンパス)

平成29年2月22日(水) 第4回大会委員会(九州産業大学)

(上記会議の重要な審議事項は、連合大会の今後の運営方針など。)

3) 連合大会役員

大会委員 大分大学 西島 恵介

4) 次年度連合大会役員

大会委員 琉球大学 舟木 慶一

注) 平成 29 年度開催地は琉球大学・千原キャンパス (平成 29 年 9 月 27 日 (水), 28 日 (木))。

講演申込は 6 月 12 日 (月)～7 月 10 日 (月), 原稿締切 8 月 10 日 (木), プログラム編成会議 7 月 24 日 (月)

5. 支部学会活動貢献賞

本支部の活動の活性化に多大な貢献が認められた者を表彰する事業を行った。「(一社) 日本音響学会九州支部学会活動貢献賞表彰規則」に基づき, 本支部長を審査委員長とした審査委員会が設置され, 本支部役員から推薦のあった対象者について審査が行われた。審査の結果, 表彰対象者 1 名が承認された。表彰式は平成 29 年 3 月 26 日の支部総会開催時に実施される。なお, 表彰対象者の詳細は後の議事で報告する。

(4) 事務、その他の活動

1. インターネットを利用した支部活動の公開 (継続)

- ・昨年度まで熊本大学 宇佐川・苮木研究室管理のサーバー上で開設していた支部ホームページを, 学会本部で管理するサーバー (acoustics.jp) に移設し, 運用を開始した。
- ・掲載内容の充実: 九州支部関連文書、支部からのお知らせ、支部行事の報告。
- ・ネットワーク委員: 山内勝也 (九州大学) (任期: 平成 29 年 4 月 1 日～平成 33 年 3 月 31 日)

2. 役員選挙の実施および役員会、総会の開催

平成 29 年 3 月に実施、開催。

2. 平成28年度 一般社団法人 日本音響学会九州支部 決算書

勘定科目	平成28年度 九州支部決算額	平成28年度 九州支部予算額	増減	科目の説明
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①事業収入	0	0	0	
研究発表会事業収入	0	0	0	
支部若手研究者発表会収入	0	0	0	
電気関係学会九州支部連合大会戻入金	0	0	0	
講習会事業収入	0	0	0	
講習会参加料収入	0	0	0	
特別企画収入	0	0	0	
②雑収入	16	254	△238	
受取利息収入	16	254	△238	銀行等利子
雑収入	0	0	0	
③◎他会計からの繰入額	470,000	497,000	△27,000	
③☆本部分計からの繰入金収入(送金額)	463,407	490,407	△27,000	本部より振り込み
△本部分計繰入金収入(源泉補充額)	6,593	6,593	0	本部源泉補填分
☆支部扱いの事業活動収入計(A)	463,423	490,661	△27,238	
◎総額の支部事業活動収入計(B)	470,016	497,254	△54,476	

勘定科目	平成28年度 九州支部決算額	平成28年度 九州支部予算額	増減	科目の説明
2. 事業活動支出				
①事業費支出	190,000	180,000	10,000	
研究委員会等事業費	80,000	80,000	0	
支部研究会補助金支出	80,000	80,000	0	8研究会分
支部談話会補助金支出	0	0	0	
研究発表会等事業費	50,000	50,000	0	
支部連合大会費支出	50,000	50,000	0	支部連合大会に関わる経費
支部若手研究者発表会支出	0	0	0	学生のための研究発表会に関わる経費
講習会等事業費	0	0	0	
講習会費支出	0	0	0	
支部講演会・見学会支出	0	0	0	
支部交流推進経費	0	0	0	
選奨事業費	60,000	50,000	10,000	
支部表彰支出	40,000	30,000	10,000	学生表彰記念品(8名)
貢献賞支出	20,000	20,000	0	貢献賞
特別企画等事業費	0	0	0	
国際会議等事業費支出	0	0	0	0 KYJCA開催費用
支部周年事業費支出	0	0	0	
その他の事業経費	0	0	0	
②管理費	37,649	101,100	△63,451	
旅費交通費支出	0	0	0	
通信運搬費支出	0	40,000	△40,000	
文具消耗品等購入支出	10,206	5,000	5,206	ポット2台, 銀行印, 封筒
印刷製本費支出	0	0	0	
会議費支出	24,959	41,100	△16,141	
支部総会関連支出	24,959	40,000	△15,041	アルバイト代, 講演会講師料, お茶菓子
支部役員会関連支出	0	1,100	△1,100	
支部委員会関連支出	0	0	0	
諸手数料支出	2,484	5,000	△2,516	銀行手数料等
消耗什器備品購入費支出	0	0	0	
雑費支出	0	10,000	△10,000	支部web管理維持費
③他会計への繰入金支出	0	0	0	
他会計への繰入金支出	0	0	0	
☆◎支部扱い事業活動支出計(C)	227,649	281,100	△53,451	
☆支部扱いの事業収支差額(D) [A-C]	235,774	209,561	26,213	
◎当期支部源泉支払額(E)	4,217	0	4,217	アルバイト代, 講演会講師料, さくらインターネット
◎当期支部事業収支差額総計(F) [B-C-E]	238,150	216,154	21,996	

II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
①固定資産売却収入	0	0	0	
②積立金取崩収入	0	0	0	
投資活動収入計	0	0	0	
2. 投資活動支出				
①固定資産取得支出	0	0	0	
②特定資産取得支出	0	0	0	
③繰入金支出	0	0	0	
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額 (G)	0	0	0	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
①借入金収入	0	0	0	
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
①借入金返却支出	0	0	0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額 (H)	0	0	0	
IV 予備費支出 (I)	0	20,000	△20,000	
☆当期支部扱い収支差額 (J) [D+G+H-I]	235,774	189,561	46,213	支部扱いの収支差額
◎当期支部収支差額総計 (K) [F+G+H-I]	238,150	196,154	41,996	支部の収支差額総計
☆前期支部扱い繰越収支差額 (L)	1,531,432	1,531,432	0	前期の支部扱いの繰越金
うち 連合大会担当学会準備金	0	0	0	
うち 周年行事準備金	350,000	350,000	0	目標額: 50万円 (平成30年度開催), 準備金 (5万円/年)
うち 周年行事準備金特別積立金	200,000	200,000	0	20万円: 2011年度(H23年度)
うち KYJCA (日本開催) 準備金	125,000	125,000	0	目標額: 50万円 (2018年度開催), 準備金 (12.5万円/年)
うち KYJCA (日本開催) 準備金特別積立金	100,000	100,000	0	10万円: 2014年度(H26年度)
うち 若手研究者発表会準備金	0	0	0	目標額: 12万円 (2015年度開催), 準備金 (6万円/年)
うち その他繰越金	756,432	756,432		
△前期末源泉税本部預かり収支差額 (M)	3,407	3,407	0	前期の本部預かり金
◎前期支部繰越収支差額総計 (N)	1,534,839	1,534,839	0	前期の支部繰越金の総計
☆当期支部扱い次期繰越収支差額 (O) [J+L]	1,767,206	1,720,993	46,213	当期の支部扱いの繰越金
うち 連合大会担当学会準備金	0	0	0	
うち 周年行事準備金	400,000	400,000	0	目標額: 50万円 (2018年度(平成30年度)開催), 準備金 (5万円/年)
うち 周年行事準備金特別積立金	200,000	200,000	0	20万円: 2011年度(H23年度)
うち KYJCA (日本開催) 準備金	250,000	250,000	0	目標額: 50万円 (2018年度(平成30年度)開催), 準備金 (12.5万円/年)
うち KYJCA (日本開催) 準備金特別積立金	100,000	100,000	0	10万円: 2014年度(H26年度)
うち 若手研究者発表会準備金	60,000	60,000	0	目標額: 12万円 (2017年度(平成29年度)開催), 準備金 (6万円/年)
うち その他繰越金	757,206	710,993		
△当期支部源泉税支払額 (P)	4,217	0	4,217	
◎当期源泉税本部預かり収支差額 (Q)	5,783	10,000	△4,217	
◎当期支部繰越収支差額総計 [K+N]	1,772,989	1,730,993	41,996	

平成 29 年 3 月 18 日

(一社) 日本音響学会九州支部
支部長 楠木 時彦 殿

(一社) 日本音響学会九州支部

会計監査 山内 勝也



会計監査 川井 敬二



平成 28 年度収支決算書について、関係書類とともにその内容を監査した結果、法令および支部規則に照らして正当であることを認めます。

4. 平成 29 年度活動計画

事業年度：平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日

(1).事業計画

1. 九州支部主催または共催の研究発表会，研究会等の実施

- 平成 29 年度も前年度並みの開催数を見込んでいる。講演会，シンポジウム等の開催協力にも適宜対応する。但し，支部補助金を伴う協力に関しては，予算の関係上，九州支部会員に還元されるところが大きいのか，補助の必要性があるかを考慮の上，適宜判断する。
- 平成 29 年度は「学生のための研究発表会」を開催する。

2. 学生表彰の実施

平成 29 年度内公示から 24 ヶ月に遡って九州支部が主催または共催する，研究発表会，研究会および「嶺南九州音響学会議（YKJCA）」「学生のための研究発表会」における学生の発表を対象として応募者を募り，特に優れたものを表彰する。

3. 九州支部学会活動貢献賞による顕彰の実施

本支部活動の活性化に多大な貢献があった支部所属の正会員又は学生会員に対し九州支部学会活動貢献賞により顕彰する。

4. 電気・情報関係学会九州支部連合大会における活動

分担金の支出，役員の派遣。

平成29年度（第70回）電気・情報関係学会九州支部連合大会が平成29年9月27日（水），28日（木）に琉球大学(千原キャンパス)にて開催される。連合大会運営方針に基づき，開催の当番学会は，主当番学会 電子情報通信学会／副当番学会 電気設備学会 である。

連合大会委員※：舟木慶一（琉球大学）

※ 例年庶務幹事が連合大会委員を担当していたが，平成28年度より，関連分野を専門とする支部会員に担当を依頼することとする。

5. 周年行事準備

平成 30 年に九州支部 20 周年を迎えるので，実施体制を確立し，実施計画の準備を始める。

(2).事務, その他の活動

1. インターネットを利用した支部の活動の公開（継続）

学会本部で管理するサーバー(acoustics.jp)において, 支部関連文書, 支部からのお知らせなど, 支部活動の公開を継続的に実施する。

2. 役員選挙の実施および役員会、総会の開催

平成 30 年 3 月に実施, 開催。

5. 一般社団法人 日本音響学会 九州支部予算案

平成29年3月1日から平成30年2月28日まで

勘定科目	平成29年度	平成28年度	増減	科目の説明
	九州支部予算額	九州支部予算額		
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①事業収入	0	0	0	
研究発表会事業収入	0	0	0	
支部若手研究者発表会収入	0	0	0	
電気関係学会九州支部連合大会戻入金	0	0	0	
講習会事業収入	0	0	0	
講習会参加料収入	0	0	0	
特別企画収入	0	0	0	
②雑収入	16	254	△238	
受取利息収入	16	254	△238	銀行等利子
雑収入	0	0	0	
③◎他会計からの繰入額	470,000	497,000	△27,000	
③☆本部会計からの繰入金収入(送金額)	465,783	490,407	△24,624	本部より振り込み
△本部会計繰入金収入(源泉補充額)	4,217	6,593	△2,376	本部源泉補填分
☆支部扱いの事業活動収入計(A)	465,799	490,661	△24,862	
◎総額の支部事業活動収入計(B)	470,016	497,254	△27,238	

勘定科目	平成29年度	平成28年度	増減	科目の説明
	九州支部予算額	九州支部予算額		
2. 事業活動支出				
①事業費支出	345,000	180,000	165,000	
研究委員会等事業費	80,000	80,000	0	
支部研究会補助金支出	80,000	80,000	0	8研究会分
支部談話会補助金支出	0	0	0	
研究発表会等事業費	220,000	50,000	170,000	
支部連合大会費支出	50,000	50,000	0	支部連合大会に関わる経費
支部若手研究者発表会支出	170,000	0	170,000	学生のための研究
講習会等事業費	0	0	0	
講習会費支出	0	0	0	
支部講演会・見学会支出	0	0	0	
支部交流推進経費	0	0	0	
選奨事業費	45,000	50,000	△5,000	
支部表彰支出	25,000	30,000	△5,000	学生表彰記念品
貢献賞支出	20,000	20,000	0	貢献賞
特別企画等事業費	0	0	0	
国際会議等事業費支出	0	0	0	KYJCA 開催費用
支部周年事業費支出	0	0	0	
その他の事業経費	0	0	0	
②管理費	101,100	101,100	0	
旅費交通費支出	0	0	0	
通信運搬費支出	40,000	40,000	0	
文具消耗品等購入支出	5,000	5,000	0	
印刷製本費支出	0	0	0	総会案内印刷
会議費支出	41,100	41,100	0	
支部総会関連支出	40,000	40,000	0	
支部役員会関連支出	1,100	1,100	0	
支部委員会関連支出	0	0	0	
諸手数料支出	5,000	5,000	0	銀行手数料等
消耗什器備品購入費支出	0	0	0	
雑費支出	10,000	10,000	0	支部WEB管理維持費
③他会計への繰入金支出	0	0	0	
他会計への繰入金支出	0	0	0	
☆◎支部扱い事業活動支出計(C)	446,100	281,100	165,000	
☆支部扱いの事業収支差額(D) [A-C]	19,699	209,561	△189,862	
◎当期支部源泉支払額(E)	4,217	0	4,217	
◎当期支部事業収支差額総計(F) [B-C-E]	19,699	216,154	△196,455	

Ⅱ 投資活動収支の部	0	0	0	
1. 投資活動収入				
① 固定資産売却収入	0	0	0	
② 積立金取崩収入	0	0	0	
投資活動収入計	0	0	0	
2. 投資活動支出				
① 固定資産取得支出	0	0	0	
② 特定資産取得支出	0	0	0	
③ 繰入金支出	0	0	0	
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額(G)	0	0	0	
Ⅲ 財務活動収支の部	0	0	0	
1. 財務活動収入				
① 借入金収入	0	0	0	
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
① 借入金返却支出	0	0	0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額(H)	0	0	0	
Ⅳ 予備費支出(I)	20,000	20,000	0	
☆ 当期支部扱い収支差額(J) [D+G+H-I]	△301	189,561	△189,862	支部扱いの収支差額
◎ 当期支部収支差額総計(K) [F+G+H-I]	△301	196,154	△196,455	支部の収支差額総計
☆ 前期支部扱い繰越収支差額(L)	1,767,206	1,531,432	235,774	前期の支部扱いの繰越金
[うち 連合大会担当学会準備金]	0	0	0	
[うち 周年行事準備金]	400,000	350,000	50,000	目標額：50万円(2018年度(平成30年度)開催), 準備金(5万円/年)
[うち 周年行事準備金特別積立金]	200,000	200,000	0	20万円：2011年度(H23年度)
[うち KYJCA(日本開催)準備金]	250,000	125,000	125,000	目標額：50万円(2018年度(平成30年度)開催), 準備金(12.5万円/年)
[うち KYJCA(日本開催)準備金特別積立金]	100,000	100,000	0	10万円：2014年度(H26年度)
[うち 若手研究者発表会準備金]	60,000	0	60,000	目標額：12万円(2017年度(平成29年度)開催), 準備金(6万円/年)
[うち その他繰越金]	757,206	756,432		
△ 前期末源泉税本部預かり収支差額(M)	5,783	3,407	2,376	前期の本部預かり金
◎ 前期支部繰越収支差額総計(N)	1,772,989	1,534,839	238,150	前期の支部繰越金の総計
☆ 当期支部扱い次期繰越収支差額(O) [J+L]	1,766,905	1,720,993	45,912	当期の支部扱いの繰越金
[うち 連合大会担当学会準備金]	0	0	0	
[うち 周年行事準備金]	450,000	400,000	50,000	目標額：50万円(2018年度(平成30年度)開催), 準備金(5万円/年)
[うち 周年行事準備金特別積立金]	200,000	200,000	0	20万円：2011年度(H23年度)
[うち KYJCA(日本開催)準備金]	0	250,000	△250,000	目標額：50万円(2018年度(平成30年度)開催), 準備金(12.5万円/年), 2017年度より不開催のため0円に
[うち KYJCA(日本開催)準備金特別積立金]	0	100,000	△100,000	10万円：2014年度(H26年度), 2017年度より不開催のため0円に
[うち 若手研究者発表会準備金]	0	60,000	△60,000	目標額：12万円(2017年度(平成29年度)開催), 準備金(6万円/年)
[うち その他繰越金]	1,116,905	710,993		KYJCAが2017年度より不開催のため0円にしたため2017予算案増
△ 当期支部源泉税支払額(P)	4,217	0	4,217	
◎ 当期源泉税本部預かり収支差額(Q)	5,783	10,000	△4,217	
◎ 当期支部繰越収支差額総計 [K+N]	1,772,688	1,730,993	41,695	

6. 平成 29 年度支部役員及び評議員選挙結果

任期:平成 29 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

有効得票数 59 票 各候補者は 57～58 票を獲得し, 承認された。

役職別	候補者氏名	勤務先
評議員	緒方 公一	熊本大学
評議員	尾本 章	九州大学
評議員	勝瀬 郁代	近畿大学
評議員	城 一裕	九州大学
評議員	水町 光徳	九州工業大学
庶務幹事	岡本 則子	北九州市立大学
会計幹事	山川 仁子	尚綱大学
会計監査	富来 礼次	大分大学

来年度まで任期が継続する役員は以下のとおり。

任期:平成 28 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

支部長	鎗木 時彦	(九州大学)
副支部長	古家 賢一	(大分大学)
評議員	鮫島 俊哉	(九州大学)
同	菅野 禎盛	(九州産業大学)
同	藤井 成清	(パナソニック補聴器株式会社)
同	舟木 慶一	(琉球大学)
同	松永 昭一	(長崎大学)
庶務幹事	若宮 幸平	(九州大学)
会計幹事	緑川 洋一	(大分大学)
会計監査	川井 敬二	(熊本大学)

7. 支部学生表彰について

役員，評議員による審査結果に基づき，学部生，大学院博士前期課程，大学院博士後期課程の各カテゴリで得点の高かった下記5名を表彰することとしたい。

【学部生の部門】

学生氏名：見上 純一（みかみ じゅんいち）

九州大学芸術工学部音響設計学科 4年

指導教員氏名：岩宮眞一郎

研究テーマ：映像作品における効果音の役割についての研究

- “映像作品における効果音の役割，” 音楽音響研究会資料，Vol.35, No.6, pp.1-6, 2017.

【大学院博士前期課程の部門】

学生氏名：黒田 翔馬（くろだ しょうま）

学生所属：大分大学大学院工学研究科知能情報システム工学専攻 博士前期課程2年

指導教員氏名：古家賢一

研究テーマ：マルチチャンネルスピーカにおける同時インパルス応答測定法の研究

- “多チャンネルインパルス応答測定における多重M系列信号と多重 Log-SS 信号の巡回性について，” 信学技報 Vol. 115, No. 302, pp. 69-74, 2015.

学生氏名：西郷 さくら（さいごう さくら）

学生所属：大分大学大学院工学研究科工学専攻福祉環境工学建築学コース

博士前期課程1年

指導教員氏名：大鶴徹，富来礼次

研究テーマ：時間領域有限要素法を用いた室内音響シミュレーションの境界形状モデリングに関する研究

- “Computational study on sound absorption characteristics of Helmholtz resonator using finite element method –Modeling of sound absorption measurements with ensemble averaging method –,” Proc. of YKJCA2017, J08, 2017.

学生氏名：山内 沙紀 (やまうち さき)

学生所属：大分大学大学院工学研究科工学専攻福祉環境工学建築学コース

博士前期課程 1 年

指導教員氏名：大鶴徹， 富来礼次

研究テーマ： アンサンブル平均を利用した材料の吸音特性の *in-situ* 測定に関する研究

- “Influence of individual difference and relative humidity on sound absorption coefficient measurement using pressure-velocity sensor,” Proc. of YKJCA2017, J19, 2017.

【大学院博士後期課程の部門】

学生氏名：岡田 昌大 (おかだ まさひろ)

学生所属：九州大学大学院芸術工学府芸術工学専攻 博士後期課程 1 年

指導教員氏名：鏑木時彦

研究テーマ： オルガンパイプにおける周波数引き込み現象についての研究

- “Higher-Order Frequency Locking of an Organ Pipe: Theoretical and Experimental Study,” Proc. of YKJCA2017, J11, 2017.

8. 支部活動貢献賞表彰について

審査委員会による審査結果に基づき、九州支部活動の活性化に多大な貢献があった下記 1 名を表彰することとしたい。

氏名：金基弘 先生

所属：駿河台大学 メディア情報学部

表彰理由：日本音響学会（ASJ）九州支部，韓国音響学会（ASK）嶺南支部共催の九州嶺南（嶺南九州）音響学会議の実行委員を長年に渡って務められ，両支部の学術交流の発展に多大な貢献をされたため。具体的には，YKJCA2009，KYJCA2011，YKJCA2013，KYJCA2015，さらに 2014 年に関東に異動された後も，引き続き YKJCA2017 の開催に尽力された。